

授業評価レポート

2025 年度 人間社会学部総合人間社会コース

1. 2024 年度の状況

①成績評価アンケート

2024 年度に実施した成績評価アンケートでは、成績評価の 4 つの視点（透明性・客観性・妥当性・公平性）が十分に確保されていないと感じた科目が散見された。ただし、それらの科目においても、大半の学生は「該当なし」と回答しており、全体としてはおおむね良好な傾向が確認された。一方で、各学年で少数ながら「1~2 科目あった」との回答があり、特定の教員や授業に限定された問題ではないが、授業設計や課題評価の過程において、学生が評価の意図や基準を十分に理解しきれていない状況が一部に残っている可能性が指摘される。特に、専門科目や実践科目では、評価基準が多様化しているため、授業内での口頭説明や逐次的確認の機会が重要である。これらの結果を踏まえ、成績評価の方法や基準について、シラバスや授業オリエンテーションでの説明にとどまらず、授業の進行中にも再度の確認や説明を行うなど、学生との相互理解を深める工夫が求められる。また、今後は評価方法そのものが適切に運用されているかを点検し、授業間の評価基準の均質化をさらに推進していく必要がある。

これを受け、総合コース会議においても結果の共有と分析を行い、全体として成績評価の信頼性は維持されていることを確認した。その上で、学生に対する評価方法の周知をいっそう丁寧に行うとともに、各科目担当者が互いの評価手法を確認し合い、授業設計段階で基準の整合を図る取り組みを継続していく方針を確認した。さらに、次年度以降は、授業内の振り返りや中間フィードバックの機会を活用し、学生が評価基準をより明確に理解し、自身の学修成果を客観的に捉えられるよう支援していくこととした。

②成績分布及び受講者数

2024 年度の成績分布は、S の 3 分 2 を超えているのはなかった。この成果に慢心することなく、今後とも、学生の意欲を高める指導を心がけたい。受講者数については、5 名以下の科目が 1 科目（「キャリア論」）あった。しかし、当該科目は、教職課程の必要科目であり、人数に関わらず開講が求められる。その年の教職希望者数に反映した履修者数であることから、科目の必要性等についてコース会議で検討し、現在のカリキュラムに問題がないことを確認した。

2. 2024 年度対応プランの結果

2024 年度は、成績評価の適切性を高めることを目的として、①成績評価の方法・内容・基準の周知の充実、②授業内容・方法を含めた成績評価の継続的な点検の 2 点に重点的に取り組んだ。

まず①については、各科目の初回授業において成績評価の基準や方法を説明するとともに、授業の進行に応じて評価の観点を再度確認するなど、学生の理解を促す工夫を行った。その結果、成績評価アンケートにおいて「該当なし」と回答する学生が多数を占めており、成績評価の基本的な枠組みについては概ね理解が得られていると考えられる。一方で、アンケート結果ではすべての項目において「1~2 科目あった」との回答が見られ、特に評価基準の捉え方に関して、学生と教員との間に認識のずれが生じる可能性が引き続き示唆された。

次に②については、前年度に成績 S の割合が高かった科目を中心に、授業内容や評価方法・基準の見直しを行った。その結果、2024 年度の成績分布においては、成績 S が受講者の 3 分の 2 を超える科目はなく、不可の割合が高い科目も確認されていないことから、成績評価は全体として適切な水準で運用されていると判断できる。また、受講者数が少ない科目についても、教職課程における必要性や履修構造を踏まえたものであり、成績評価上の問題は認められなかった。

以上から、2024 年度の対応プランは一定の成果を上げたと言え、成績評価アンケートにおいて継続的に指摘が見られる点を踏まえ、今後も学生が評価基準をより明確に理解できるよう、授業内での説明やフィードバックの工夫を継続的に行うこととした。

3. 対応プラン

以上の結果を踏まえ、今後の対応プランを次のとおりとする。

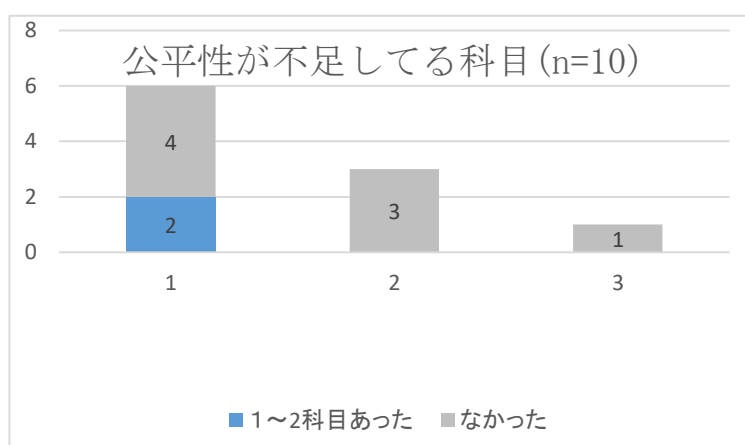
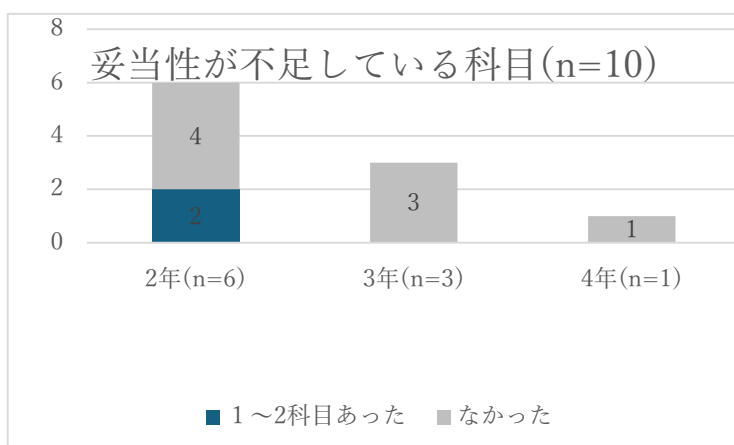
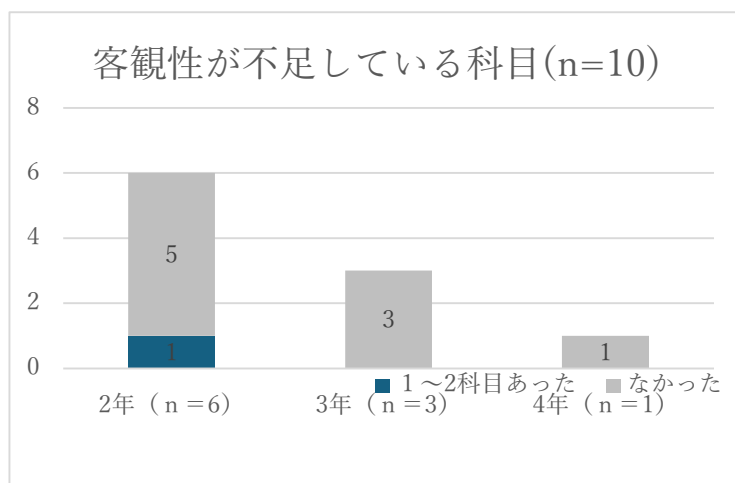
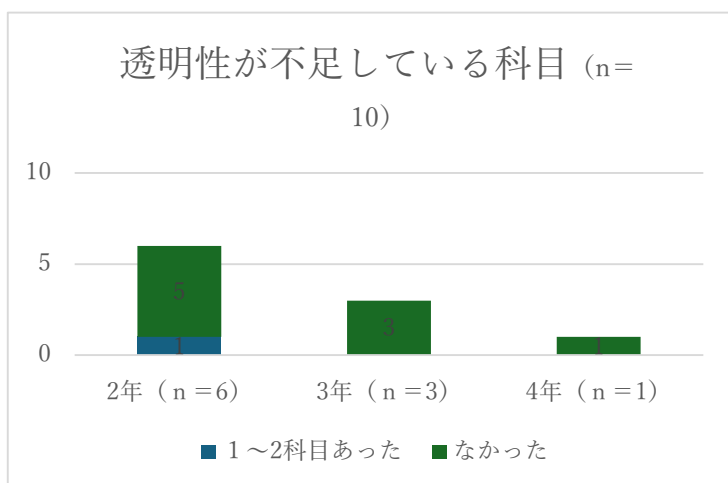
成績評価の方法・内容・基準については、シラバスへの記載や授業開始時のオリエンテーションにおける説明に加え、授業の進行に応じて適宜再確認の機会を設けることで、学生の理解を一層促進する。

あわせて、成績評価の方法や基準のみならず、授業内容および授業方法についても継続的に点検を行い、学修成果を適切に反映した成績評価が実施されるよう努める。

添付資料(省略)

- ・総合コース成績評価アンケート結果報告
- ・総合コース専門教育科目 受講者数及び成績結果状況報告

1. 成績評価アンケートの結果



前年度は回収数の少なさを指摘したが、今年度は約2倍の回収ができています。しかし、すべての項目において、「1~2科目あった」が回答にあるため、改善のための検討を要する。

総合人間社会コース殿

教務・共通教育部会

総合人間社会コース専門教育目および関連科目 受講者数及び成績結果状況報告

2024年度の総合人間社会コース科目および関連科目の各科目の受講者数及び成績結果をお知らせします。

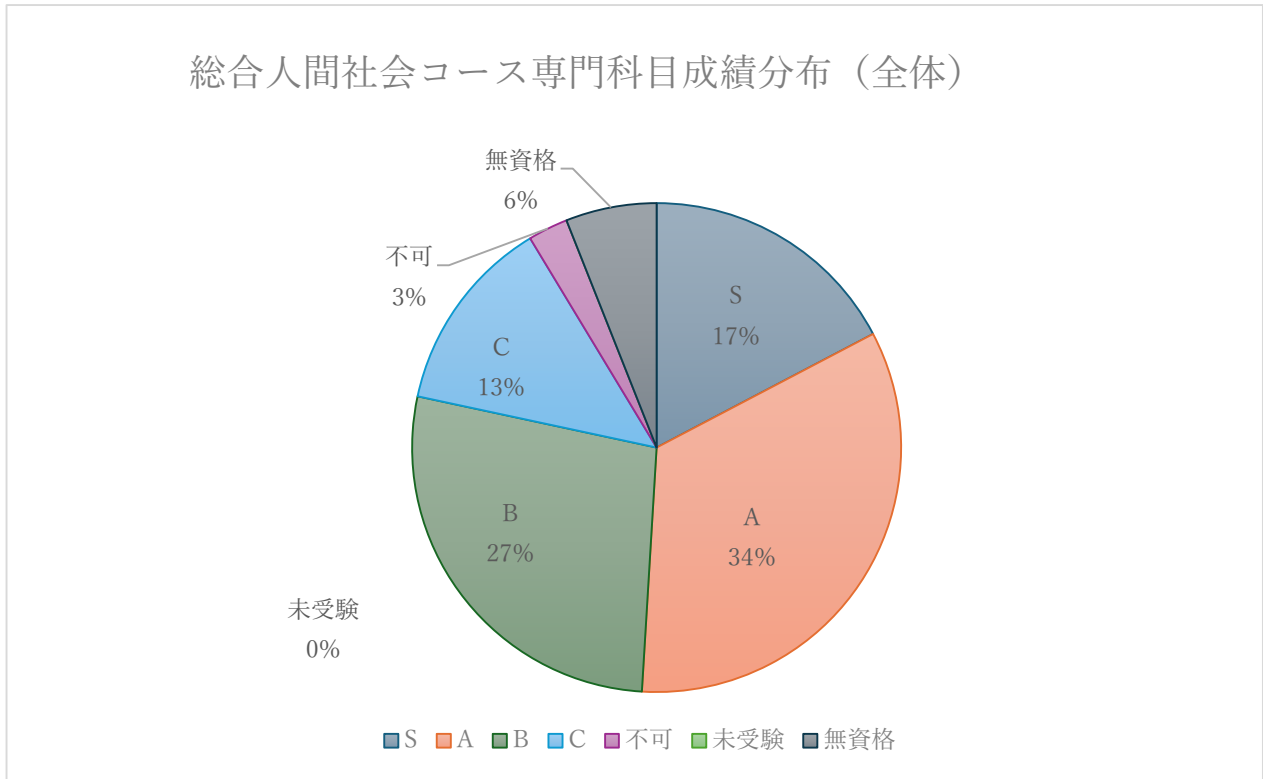
結果について

1. 受講者数が5名以下の科目は、「キャリア論」(5名)でした。以上の科目の履修状況について学科で検討してください。
2. 成績に「不可」の割合が多い科目はありませんでした。
3. 成績Sが受講者の3分の2を超えていた科目はありませんでした。

※ 本コメントは、問題点を指摘するものではありません。問題がないかを確認し、問題がない場合はこれで妥当であることを説明できるようにしてください。また強化あるいは変更したほうが良い点がある場合は、具体的な対策を立てられてください。

(添付資料)

(1) 学科別成績分布



(2) 各授業の成績分布

